

6月2日。2022〜23シーズンの初日を迎えた。約3週間のオフを挟み、久々に選手の姿を見ると少しうれしかったし、この日を無事に迎えられて安心した。

午前はミーティングを終えてからウエートトレーニングで体を鍛え、午後はボール練習に取り組んだ。「個々のスキルアップ」をテー

久原 大輝



リハビリ 成長の好機

マに、昨季の課題と各自が向き合ってほしい。

4月に膝の手術をした金子聖輝選手はリハビリからのスタートとなった。Vリーグを初めてメインセッターとして終えたが、結果が伴わず、悔しさの残るシーズンだったと思う。手術はこの先を見据えたものだが、バレーボールが好きな金子選手にとって半年間、プレーできないのはつらいだろう。

ただ、コートから離れてチームを客観的に見る時間も時には必要だと思う。プレーしていた時には気付かなかったことが、たくさん見つかるチャンスと捉え、一人の大人として、バレーボール選手として、一回りも二回りも大きくなってコートに帰ってきてほしい。先輩として、この場をお借りしてエールを送りたい。

(JT広島マネジャー)

トレーニングに汗を流す
金子選手